

## 令和4年度第26回市政懇談会 会議録（要旨）

テーマ：地域が抱える問題について

<b>【日 時】</b> 令和5年2月7日（火） 18時30分 ～ 19時30分
<b>【場 所】</b> 吉部ふれあいセンター
<b>【出席者】</b> ○篠崎市長 くすのき商工会副会長 : 田辺 敏彦 吉部地区自治会連合会会長 : 藤村 周治 吉部地区自治会連合会副会長 : 熊谷 友敬 吉部地区子ども食堂ふれあいの会副会長 : 美澄 正和 吉部地区体育振興会会長 : 永見 富雄 ○総合政策部 ○事務局（広報広聴課、吉部ふれあいセンター、地域支援員）
<b>【概 要】</b> 1 開会 2 出席者紹介 3 参加者と市長との意見交換 4 閉会
<b>【意見交換・懇談】</b>
<b>○農林水産業に対する支援について</b> <b>【くすのき商工会副会長】</b> ・農林水産業の担い手不足は深刻で、担い手を増やすための支援策や補助金を検討してほしい。 ・農事組合法人への農機具等の助成制度はあるが、個人に対しては助成制度がない。個人に対しても助成制度を創設してほしい。 <b>【市長】</b> ・持続可能で収入を得る事ができる農林水産業へ転換するため、令和4年3月に策定した「宇部市農林水産業振興計画」に基づき取組を進めており、農業については、新規就農者に対する技術習得の支援や就農経営に対する資金の補助、市が選定した収益性の高い作物への作付への支援等を行っている。 ・今後、農業従事者との意見交換会の開催や、来年度は、農業体験や研修費用の増額、農業大学の授業料支援も行っていく。 ・認定農業者への助成制度があるので活用してほしい。また、飼料用のトウモロコシ等の収益性の高い農作物への転換についても支援しているので検討してほしい。
<b>○年末売出し抽選会に対する補助金の補助率アップについて</b> <b>【くすのき商工会副会長】</b> ・年に一度、12月に商店を利用してもらった方を対象に抽選会を実施している。地区の協力店

舗で 500 円の買い物をすると 1 枚抽選券を進呈し、10 枚集まると抽選ができる抽選会を運営し、今年も 1 月 11 日に実施し、大変盛況だった。

- ・これまで県の補助金を活用し、昨年度は 58 万円、本年度は 83 万 8,000 円の補助金交付実績がある。県の補助金が来年度なくなった場合、市の補助金を活用したいと思っているが、過去に市の補助金を活用させてもらっていた時は数万円程度の補助金だった。抽選会の継続のために 20 万円程度の補助金が出るよう検討してほしい。

#### 【市長】

- ・宇部市商業活性化事業補助金では、イベント開催に係る経費の 2/3 で上限 30 万円まで補助することができるので、活用を検討してほしい。
- ・令和 5 年度、北部の地域振興に向けたプラットフォームの立ち上げを考えている。これは地域内外から多様な人が集まり、北部の魅力を考え直すために情報を集約し自由に話し合う場で、その中で出てきた意見等を政策に反映させ、北部地域の持続・発展につなげていきたい。是非、皆様にも参加してもらいたい。

### ○空き家対策支援について

#### 【自治会連合会会長】

- ・吉部地区においては、人口減少により空き家が増えてきている。仏壇や家財などが残置してあるため、住宅情報バンクに登録できない空き家が多く見受けられる。住宅情報バンクに登録できるようにするため、家財道具等の処分費用やリフォーム代等の支援をお願いしたい。また、住宅情報バンクに登録済みの空き家の情報をしっかり周知してほしい。

#### 【市長】

- ・空き家の購入等について、住宅情報バンク物件を購入する場合の助成金を現行の 30 万円から来年度は 80 万円に増額する予定である（県外からの移住者対象）。さらに、子育て世帯の場合であれば子育て支援助成金として 10 万円、世帯に 39 歳以下の人がいれば若者加算として 10 万円、最大で 100 万円の助成金を考えている。これには家財処分費用も含まれているので積極的に活用してほしい。

### ○防犯カメラの設置について

#### 【自治会連合会会長】

- ・ごみの不法投棄について、県道沿いに多くのごみ、空き缶やペットボトル等が捨てられている。私が住んでいる所は、美祢市や山口市の近くであるが、市外の方が私の自治会のごみ置き場に他市のごみ袋を捨てて行かれる事がよくある。宇部市指定のごみ袋ではない為、ごみ収集車には取ってもらえないので、私とその度に分別して出しているのが現状である。
- ・データ管理等の問題もあると思うが、ごみの不法投棄対策として、防犯カメラの設置や看板設置費用の助成を検討してほしい。

**【市長】**

- ・不法投棄に関しては、市民の皆様から多くのご意見をいただき、令和5年度から防犯カメラ設置の補助金を新設する予定である。防犯カメラの設置は、不法投棄の解消といったプラス面もあるが、プライバシーの問題もある。また、データの管理を、誰がどのようにするかといった問題もある。
- ・データの管理や自治会内での合意等について、他の自治体等で先進的に取り組んでいるところも参考にしながら、補助金の仕組みを検討している。

**○移住定住の推進について**

**【自治会連合会副会長】**

- ・吉部地区は自然に恵まれた地域であり、外部からみれば、吉部地区は魅力があり特色のある地区だと思っている。吉部地区は、高齢化による休耕田の増加や過疎化、また、森林も整備出来ず、空き家が増えている。この課題解決策として、一番は定住人口を増やす事ではないかと考えている。就労場所や在宅ワークも可能なネット環境、高齢になっても市内等に出向ける移動手段などが整った交通環境で、これらをもっと周知しないと定住に結び付ける事は難しいと思う。
- ・PTA活動をして特認校制度というものをはじめて知った。外部に向け、もっとこの制度を周知すべきだと思う。

**【市長】**

- ・移住定住に結びつけるには、就労・収入が必要で、そのために、令和4年3月に宇部市農林水産業振興計画を策定した。
- ・市としても、光ケーブルの敷設にも積極的に取り組んでいきたい。
- ・特任校制度は魅力的なものであるが、通学面に関して大きなハードルがある。保護者の声を聴きながら、情報発信等取り組んでいきたい。

**○食品ロスへの取り組みに対する支援について**

**【子ども食堂ふれあいの会副会長】**

- ・子ども食堂の活動が、昨今の経済情勢で物価上昇の影響を受けている。食品ロスのないように取り組んでいるが、市として食品ロス活動や子ども食堂に対する支援を行ってほしい。

**【市長】**

- ・食品ロス活動に対する支援については、県の助成制度（やまぐち子ども・子育て応援ファンド助成事業）の活用を検討してほしい。子ども食堂に対する市の支援は、引き続き検討していく。

**○公共交通（バス）での通学にかかる交通費について**

**【体育振興会会長】**

- ・吉部地区には、船鉄バスが運行しており高校生は通学にバスを利用している。仮に一番近い

学校まででも片道 360 円、年間で約 8 万円の費用がかかる。これらの費用の助成制度を創設してほしい。

**【市長】**

- ・ 高校生の通学にかかる交通費の支援としては、吉部地区から船木地区まで運行している「くすのき号」について、無償化に向け検討していく。

**○農林業の担い手育成・確保について**

**【自治会連合会副会長】**

- ・ 農林業を推進していくために、農林業の担い手育成・確保をしていく必要があると思う。そのために、緑の雇用（国の補助事業）のような補助制度を創設してほしい。

**【市長】**

- ・ 農林業人口の増加、過疎地域への定住を考える上で、稼げる農林業は必要と考えている。補助制度については、今後の課題として検討していく。

**○有害鳥獣対策について**

**【くすのき商工会副会長】**

- ・ 吉部地区は、有害鳥獣被害が多く、有害鳥獣対策への支援をお願いしたい。

**【市長】**

- ・ 有害鳥獣対策への支援については、猟友会からの意見も伺いながら、有害鳥獣に対する単価の見直し等を行っている。また、猟友会の育成にも力を入れていきたい。